

投資環境の見通し（2026年3月）

国内株式

もみ合い

株価上昇要因
堅調な企業業績 政府の成長戦略への期待
株価下落要因
中東情勢の緊迫化 世界経済の減速



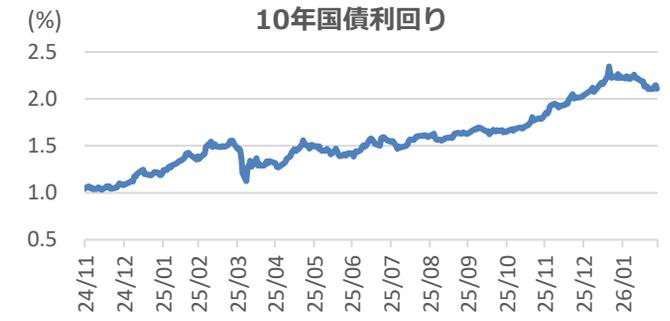
1か月の予想レンジ 日経平均株価：52,000円～62,000円

国内株式市場は、政府の成長戦略への期待に加え、国内景況感の堅調さが追い風になると思われます。しかしながら、中東情勢の緊迫化や米関税政策の動向など新たに浮上してきた外部環境要因により上値が抑えられるとも想定され、高値圏でもみ合う展開が予想されます。

国内金利

もみ合い

金利上昇要因 (債券価格下落要因)
国内インフレ圧力の高まり 日銀の追加利上げ
金利低下要因 (債券価格上昇要因)
世界経済の減速 日本経済の減速



1か月の予想レンジ 日本10年国債利回り：1.8%～2.3%

国内長期金利は、高市首相が植田日銀総裁との会談で早期の追加利上げに難色を示したと報道されるなか低下基調となっており、引き続き日銀の追加利上げのペースを見極めたいとの市場の思惑から、2%の水準を挟んでもみ合う展開が予想されます。

米ドル/円

もみ合い

米ドル上昇要因 (円安要因)
米景気好調維持 中東情勢の緊迫化
米ドル下落要因 (円高要因)
日銀の追加利上げ 日本の財政悪化懸念



1か月の予想レンジ 米ドル/円：148円～162円

米国は利下げ再開、日本は利上げ継続が想定されており、両国の中央銀行の金融政策の方向性の違いにより、日米の金利差が縮小すると円高・ドル安が想定されます。しかしながら、米国のイラン攻撃による地政学リスクの高まりが有事のドル買いを喚起させるとも想定され、ドル円相場はもみ合う展開が予想されます。

※ 上記矢印は相場の方向性を示しています。

出所：QUICKのデータをもとに中銀アセットマネジメント作成

【本資料のご利用にあたっての注意事項等】

■当資料は、投資環境に関する情報提供のみを目的として、中銀アセットマネジメント株式会社（以下、「当社」という。）が作成したものであり、特定の有価証券への投資を勧誘・推奨するものではありません。また、当社が設定・運用する各ファンドの投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。■当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料に掲載しているグラフ、データ等は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。■当資料に示す意見等は作成日現在のものであり、将来の市場環境の変動または運用成果を保証するものではなく、将来予告なしに変更する場合があります。■当社は当資料に含まれる情報から生じるいかなる責務（直接的、間接的を問わず）を負うものではありません。■当資料に記載されているベンチマークインデックスの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

中銀アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 中国財務局（金商）第10号
加入協会 一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会